

九州観光振興大会宣言

「ラグビーワールドカップ 2019 を契機に、スポーツツーリズムによる観光振興を九州が一体となって強力に進めよう！」

本日、ここに、「九州はひとつ」の理念のもと、九州7県の県議会議員、行政、観光関係事業者等が一堂に会し、「第3回九州観光振興大会」を開催した。

私たちの共通の思いは、国内外の人々に観光地「九州」のブランドを定着させ、九州地域における交流人口の拡大や経済の活性化に繋げていくことである。そのためには、九州新幹線を基幹とする鉄道、整備が進む高速道路、国内外の都市と結ばれた数多くの空港、多数のクルーズ船が寄港する港湾等による九州の交通ネットワークを最大限に生かし、広域的周遊観光の利便性を高めることが必要である。また、九州各県が持つ歴史・文化・自然・食・温泉等の観光資源をさらに磨き、その魅力を世界に発信していかなければならない。

特に、今後、九州では、2019年にラグビーワールドカップと女子ハンドボール世界選手権大会が開催され、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会においても、その事前キャンプが実施されることから、この機会を捉え、スポーツツーリズムの一層の推進に重点的に取り組むこととする。

世界中の愛好家が強い関心を持つ世界規模のスポーツ大会は、選手、スタッフ等はもちろん、観戦のため相当数の来訪客が見込まれ、新たなインバウンドの層を取り込む絶好のチャンスとなる。

また、2016年の熊本地震、2017年の九州北部豪雨や阿蘇山、霧島山、桜島等の火山活動のように九州内で発生した自然災害等に対する復興支援や風評被害対策についても、迅速かつ正確な情報発信を国内外に展開する重要なチャンスでもある。

さらに、観光振興とスポーツ振興を融合させ、相乗効果が期待できるスポーツツーリズムは、観光産業だけではなく、メディア、運輸、流通、スポーツ用品、アパレル、健康産業等、幅広い産業分野の需要を喚起し、IT技術の活用で新たな価値を創造する可能性にも満ちており、九州の活性化にとって極めて有望な取組である。

そこで、これらの大会やキャンプに直接携わる関係者だけでなく、九州各県及び各県議会が、九州観光推進機構、観光関係事業者等と固くスクラムを組み、九州が一体となってスポーツツーリズムの広域的な振興その他九州の観光振興を力強く推進していくため、次のとおり宣言する。

記

- 1 試合開催地やキャンプ地だけではなく、九州全体が協力して競技関係者や観戦客を歓迎し、その快適で円滑な滞在に寄与するなど大会の成功を支援するとともに、大会を契機として九州への関心・興味を最大限に高め、活用して、九州を訪れる国内外の観光客の継続的拡大に取り組むものとする。
- 2 九州で開催される国際的スポーツ大会等の開催時期に合わせて、開催都市だけではなく、周辺都市や県域を越えて各都市を広域でめぐり、九州の魅力を堪能できるよう、九州の官民が一体となって観光振興に取り組む機運の醸成を図るものとする。
- 3 スポーツツーリズムによる九州観光の振興を推進するため、九州の官民が協働して新たな国際的スポーツ大会やイベント誘致開催の成果を九州全体に波及させる施策の実施に持続的に取り組むものとする。

平成30年8月3日